

看護部だより

ナースキャッツ

No.23

新年度の抱負

看護部長 青木春美



平成二十二年度を迎えるにあたり、看護部は、理念・方針を見直しました。新しい理念は『地域住民の健康を守るため、豊かな人間性を持ち、安全で安心できる質の高い看護を提供します』とし、方針には「思いやりの心で接する」「地域との連携を図り継続性のある看護の提供」及び「看護の視点で病院経営に参画する」を追加しました。

春色のなごやかな季節、看護部にも新しい仲間を迎えることができ、大変嬉しく、楽しみにしています。

また、当院は、今年二月に袋井市との病院統合が決まり、新しいスタートの年となりました。このことが職員にとって、近い将来の大きな希望となるよう力を合わせて頑張りたいと思います。

当院を利用される方達のニーズと働く職員の満足を考慮し、新しい病院に向けて、短期・中期目標を立てて活動していきたいと考えます。

看護職は、学びを実践に繋げ、成果をだすことが大切と考えます。今回の統合準備検討会が、今提供している看護を見つめる良い機会と考え、個々の看護師や地域住民の声を二つ二つ聴きながら、行動に繋げていきたいと思っています。

『食』への援助

4棟 小柳津雅営



私は食事介助をしながら、口から物を食べることの大切さを実感しています。

食事を口から食べるということは、嘔むという行為が脳に刺激を与え、徐々に離床に導かれるときいています。入院している患者さんには寝たまま、ベッドから起きられない方もいらっしゃると思います。私は、食事を食べやすいよう、体の位置を整え、むせに注意しながら、患者さんに合わせたペースで食事介助をしています。日一日と表情が変わり、食事量も増え、食事を楽しむようになっていくのがわかります。私の喜びの瞬間です。

輝きナース

パート 8



外来 清水るみ子

中国茶にハマって何年になるでしょうか、教室に通って、白茶・黄茶・緑茶・青茶・紅茶・黒茶・工夫茶と、その種類の多さに驚きつつも、いろいろなお茶やお茶請けとの出会いを楽しんでいます。中国茶の魅力は、なんといっても、その香りにあるような気がします。日本茶よりも高い温度のお湯で淹れて、茶葉の持つている香りを目いっぱい引き出します。

とびきりの幸せ気分を味わうことができます。忙しい外来勤務のなかで、しばしのリラックスタイムを味わっても、できれば、休憩時間にせつせと中国茶を淹れています。ひとりで飲むお茶は、味気ないものです。花粉の季節のお薦めは、凍頂烏龍茶でしようか。

